

令和6年度 事業計画

I はじめに

新型コロナウイルス感染症の影響とともに、先行きは、国際情勢の大きな変化に伴うエネルギー価格や物価の高騰、そこに円安傾向も加わり、地域経済や暮らしにおいて、不安定な要因となる中、シルバー人材センターの財務体質の改善が一層望まれています。

桑名市シルバー人材センター事業について、契約金額ベースでみると、令和5年度が約5億4千万円でコロナ前の令和元年度水準に回復するとともに若干上向き傾向となってきました。シルバー事業もこうした傾向をしっかりと受け止め、社会経済活動に柔軟かつ的確な対応が求められます。

しかしながら、事業を推進する上で深刻な問題が会員数です。令和5年度末現在で会員数は919人、令和元年度末(1,017人)と比較をすると98人減で、依然として下回っています。企業等の定年延長により会員数の維持・拡大は極めて厳しい状況にはありますが、会員数はシルバー人材センター社会的な役割を果たす上で、大きな影響を及ぼします。

シルバー事業の安定的な運営には、会員の拡大と年齢に応じた就業開拓とマッチング、そしてサードプレイス(居場所)づくりが大切です。

シルバー人材センターの目的である、「生きがいと健康づくりを推進し、活力ある地域社会づくり貢献する」ために、たゆまぬ努力を会員と職員が一体となって、以下の重点項目に取り組んでまいります。

II 令和6年度 事業実施計画

1 会員拡大への取組

会員拡大をするためには、説明会の回数を増やす等の対策だけではなく、入会した会員が希望する仕事があり、入会して良かったと思えるような魅力ある組織であることが重要です。また、シルバー人材センターが地域社会からの期待に応え、存在感を高めていくための基盤であり、安定した事業運営の根幹です。

(1) 入会促進への取組

①入会説明会及び昨年度実施した地区説明会で参加者の多かった地区は回数を増やすなど、組織的・計画的に開催する

- ②各種会員募集チラシを、公共施設、金融機関等へ設置するとともに市内企業、経済団体への働きかけを行う
- ③広報等への折込をはじめ、可能な情報ツール活用した情報発信を行う
- ④毎月1回、ハローワーク桑名での就業相談会を継続して開催するとともに、連携を深める
- ⑤会員へ新入会員拡大報奨制度による新入会員紹介を呼びかける
- ⑥女性会員の拡大につながる工夫を図る
- ⑦講習会等の開催を充実させる

(2) 退会抑制への取組

- ①未就業会員へ就業情報を提供するとともに、定期的に個別相談を実施する
- ②互助会による同好会活動等会員間の活性化促進を図る
- ③会員へのゴールド会員制度、夫婦会員半額制度の周知に努める
- ④事務所とのやり取りをスマホ等のデジタル機器の設定が完了された会員へのインセンティブを検討する

2 就業機会拡大への取組

シルバー人材センター事業を拡大するうえで就業機会の確保・拡大は会員拡大とともに重要なテーマです。その中で、新規就業先開拓は事業拡大の要です。会員のニーズに合った就業先の確保・提供するため、就業開拓に取り組めます。

- ①各種チラシを金融機関等に設置するとともに、商工会議所等経済団体との連携を強化する
- ②発注者への定期的な訪問を実施し、発注者との信頼関係を向上させることで、就業拡大及び業務内容拡大に取り組む
- ③事務局職員での打合せを毎週実施し、未就業会員への就業機会提供に努める
- ④事務局通信、ホームページ、事務所での掲示のほか、デジタル技術を活用して会員への情報提供に努める
- ⑤地域社会の要請を的確にとらえ、新たな職域の開拓に努める

3 事業の普及啓発活動

市民や事業所等へシルバー人材センター事業を広く情報提供することにより、センター事業への理解と共感を得ることで、会員拡大、就業拡大につなげていきます。

- ①各種発行物を公共施設に加え、金融機関等に設置することで広くシルバー事業の周知に努める
- ②各種イベントに参加するとともに、ボランティア活動を通じてシルバー事業の周知に努める
- ③ホームページ等の充実に努め、メディアを通じた市民が理解しやすい内容に編集する
- ④地域でのシルバー事業の理解を目的に、週に1回「シルバー朝市」を継続して開催する
- ⑤効果が高く、目的を持った広告等に努める

4 安全就業への取組

全国的な重篤事故発生事例に対する予防を重点的に実施するとともに、「ちょっと待て 違う目線再確認」をスローガンに事故撲滅と健康増進に取り組めます。

- ① 全国的な重篤事故の状況を把握し、特に原因として多い「剪定における転落事故防止」「通勤途上における自転車事故防止」を中心に講習会の実施を行い、絶対に重篤事故を起こさないとの思いで取り組む
- ②安全就業委員会委員による事故発生場所を中心とした安全パトロールを実施し、会員への事故防止の取組向上に努める
- ③草刈作業代表による会議の開催及び草刈業者への講習会を実施し、草刈中での事故削減に向けて取り組む。
- ④安全かわら版を定期的に発行し、安全就業に関する情報や健康に関する情報等、会員への情報提供に努める
- ⑤事故が発生した時には、関係者が即時事故現場に向かい事故原因、事故防止策等協議し、関係役員、関係会員へ周知することにより事故防止に取り組む
- ⑥三重県シルバー人材センター連合会主催の安全就業推進大会、安全・適正就業パトロールに参加し、安全に関する知識の向上に努める

5 組織の活性化と安定運営への取組

種々の施策を実行するためには、組織の活性化と安定した財政基盤の確立が不可欠です。「自主・自立」「協働・共助」の基本理念に立ち返り、組織が一丸となった取組に努めます。また、市民や事業所等へシルバー人材センター事業を継続してPRすることにより、シルバー人材センターの認知度を高めます。

- ① 「フリーランス新法」など外部環境の変化について、的確に対応する
- ②センターの目標・将来像の共有化を図るため、中期計画策定のもと、組織的・計画的な取組を推進する
- ③事務局組織の最適化を図り、組織的な取組により安定運営の基盤づくりを推進する
- ④会員の満足度向上に向けて、講習会等イベントを開催する
- ⑤センター主催のボランティア活動、「シルバー朝市」等を引き続き開催することでシルバー事業の啓発を図る
- ⑥ホームページを中心に、市民や事業者等が求める広報・広告活動を推進する

6 デジタル活用への取組

将来のシルバー人材センターを見据え、スマホを使った情報のやり取り及びweb入会等、シルバー事業におけるデジタル技術の活用を推進します。

特に、会員同士、さらに事務所との基本的な連絡事項や情報のやり取りをスマホ等のデジタル機器で完了できるよう、支援します。

こうした取組みにより、会員の満足度のほか、業務の効率化、さらにはコスト削減に寄与します。

- ①スマホ教室の開催を継続する
- ②web上での入会説明会を検討する
- ③SMS、SNS機能を活用した情報発信と就業報告、現場写真などの提出に取り組む
- ④smile to smileの利用促進を図り、就業情報や配分金明細等情報範囲を拡大する
- ⑤事務所とのやり取りをスマホ等のデジタル機器の設定が完了された会員へのインセンティブを検討する